

金沢を見守るふれあいの山  
金沢屈指のビューポイント

# 卯辰山

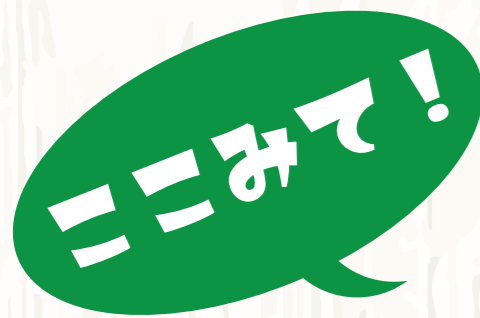
金沢市街を  
一望

UTATSUYAMA

穴場  
スポット

写真提供：金沢市

見晴らし台は金沢の地形が一目でわかる場所です



# 卯辰山公園

UTATSUYAMA KOEN PARK

金沢市街を一望する卯辰山山麓に広がる公園で、日暮ヶ丘・見晴らし台・眺望の丘・望湖台の4つの眺望ポイントがあり、夜景も美しく人気のスポットです。

## 眺望の丘

東山・森山界隈のまちなみ越しに金沢港から河北潟方向に広がる景観を一望できます。



写真提供：金沢市

## 望湖台

標高141mの望湖台からは、金沢の黒光りする屋根瓦の町並みや日本海・白山連峰まで一望することができます。江戸時代には、城を見下ろす場所であつたため一般の入山は禁止されていきました。



写真提供：金沢市



写真提供：金沢市

## 広域マップ



### アクセス

- 徒歩：JR金沢駅より40分／兼六園より20分  
ひがし茶屋街より10分
- バス：JR金沢駅より20分(北鉄バス 千寿閣行)

## 日暮ヶ丘

14代藩主前田慶寧公が卯辰山を開拓した当初からの名前とのこと。「気がついたら日が暮れているほどの素晴らしい眺め」が命名の由来です。



写真提供：金沢市

## 花菖蒲園

昭和57年に「金沢400年記念事業」として、卯辰山中腹につくられた。上段は「段々畑の花菖蒲」、中段は「せせらぎと花菖蒲」、下段は「池と花菖蒲」をそれぞれテーマとして整備されています。



写真提供：金沢市

## 見晴らし台

浅野川上流の山間部からまちなかまでを見渡すことができる展望芝生広場。医王山・戸室山～小立野台地～白山～大乘寺山～金沢城公園～金沢駅方面までの壮大なパノラマ眺望景観が楽しめます。



卯辰山は、顕彰碑・功労碑・歌碑・句碑・書碑などの建立場としても市民に利用され、歴史探訪の場にもなっています。

- A 徳田秋声文学碑**  
(とくだしゅうせいぶんがくひ)
- B 卯辰山公園創設記念碑**  
(うたつやまこうえんそうせつきねんひ)
- C 泉鏡花句碑**  
(いづみきょうかくひ)
- D 津田米次郎翁碑・像**  
(つだよねじろうおうち・ぞう)
- E 西田幾多郎先生 旧跡**  
(にしだきたろうせんせい きゅうせき)

金沢東ライオンズクラブは、半世紀に渡り卯辰山三社や花菖蒲園・眺望の丘を中心としてアジサイ植樹・公園整備・清掃活動や公園保全に携わっています。  
東ライオンズクラブが推薦する散策コースをご紹介します。

# おすすめ散歩コース

安政の泣き一揆散策コース（徒歩約 40 分）  
眺望の丘・花菖蒲園・卯辰山三社コース（徒歩約 60 分）

ひがし茶屋街へ来たなら、  
卯辰山まで足を延ばして  
健康散歩。  
金沢市街を一望できます。



**スタート**  
○ 寿経寺  
七稲地蔵尊



寿経寺の門前には、「七稲地蔵」が安置されている御堂が建っているが、これは、安政五年(1858)、領内に大飢饉が起り、米価が高騰して、騒動が起きた事件にまつわるものです。

**コース内容**

寿経寺・七稲地蔵尊 → 山野草園 → 花菖蒲園  
 (↔ 眺望の丘) ← (千杵坂) → 日暮ヶ丘 (↔ 卯辰山三社)  
 → 花菖蒲園 → 観音院 (観音坂) → 寿経寺



卯辰山十一坂の一つ  
明治42年に新道が開かれ  
元の坂を「男坂」  
新道を「女坂」と  
呼ぶようになりました

卯辰山十一坂の一つ  
花菖蒲園に入って右手の  
鳥居が建つ階段の坂です

**安政の泣き一揆**  
安政五年(1858)は長雨で凶作が予想されたために、米商人は米を買い占め、米価は高騰した。七月飢えた町人が卯辰山に登り、二晩にわたって金沢城に向かい「米よこせ」と大声で叫んだ。この場所がその中心であつたらうと推察できる。藩の貯蔵米放出で米価は下がったが、藩は首謀者を探し出し死刑にした。この七人の人々を哀れんで後に七体の稲抱き地藏(七稲地蔵)が建てられた。今は山麓の寿経寺に安置されている。

愛宕神社、卯辰山天満宮、  
豊国神社を卯辰山三社と  
いいます

